

第1回 '21卒就職活動スタート講座《前編》 ～鍵はインターンシップにあり!～

日時：2019年4月23日（火） 16:20～17:50

場所：文学部B251講義室

講師：杉原沙知氏（株式会社マイナビ）

新藤季奈氏（広島大学グローバルキャリアデザインセンター）

対象：来年就職活動に臨む3年生、M1生を中心とした全学生

講演内容

近年、就職活動におけるインターンシップの意義がますます重要になってきています。今回は、グローバルキャリアデザインセンターの新藤さんとマイナビの杉原さんに、インターンシップの意義、就職活動の流れと心がまえについてお話をうかがいました。

1. インターンシップの意義と重要性（新藤氏）

インターンシップは、学生側にとっても企業側にとっても、互いを知る（あるいは知ってもらう）ことができる重要な機会になります。また近年では、エントリーシートの設問でインターンシップ参加経験の有無を聞かれる場合がある等、インターンシップを実質的な採用選考の入口に位置づける企業も増加傾向にあるようです。

以下具体的に、（1）先輩たちのインターンシップ事情を知る（いつ頃？どのくらいの期間？双方の感想は？ etc）、（2）インターンシップの探し方を知る（どのように？どんな会社に？ etc）、（3）インターンシップ参加に当たっての注意点を理解する（申込方法は？万一のための保険は？ etc）の三つに分けて詳しく説明が行われました。

2. 就活スケジュールの流れと心がまえ（杉原氏）

就活は、①「備える」（自己分析、業界・企業研究、筆記試験対策など）→②「探す」（就職サイト、大学の求人票、ハローワーク、会社説明会・採用HPなど）→③「受ける」（書類選考、筆記試験、グループディスカッションを含む面接）→④「内定」というステップを踏みますが、その中でも最も重要なのが①「備える」ステップです。注意すべきは、選考期間がかつてなく短くなっているため（以前は3ヶ月程あったものが、近年は約1ヶ月に）、面接が開始される三月に入ってから準備を始めるのでは遅いということです。三月までにどこまで準備ができているか、それこそが就活の明暗を分けると言えるでしょう。

この準備段階では「情報収集」「インターンシップ」「学業」が重要です。情報戦を勝ち抜くためには、様々な就活アプリ（マイナビ2021etc）を利用するとよいでしょう。またインターンシップは、「興味のある企業について詳しく知るため」だけでなく、「そもそも自分が何をやりたいのかを見つけるため」にも役立つため、積極的な参加が望まれます。さらに、近年企業側は、大学生活におけるサークル活動やアルバイトの経験だけでなく、学業についても注目する傾向があるようです。学生の本分である学業をおろそかにしない姿勢は、企業側に好印象を与えるだけでなく、自分自身を語る上でも重要になってきます。また、積極的に「学外」（他大学の就活生や社会人）と接する機会をつくること、「学内」（就学相談室、ゼミ、キャリアデザインセンターなど）を最大限に活用することも就活に向けて重要になってきます。

最後に受講生の感想をご紹介します。

- ・「今のうちに知っておくと強みになりそうな話が聞けた」
- ・「少しでも早めに取り組もうという意欲がわいた」
- ・「就活の大まかな概要をとらえることができた」
- ・「インターンシップなどに向けて今からやっておくべき対策などが見えてきた」
- ・「今からできることがあるということ、またすぐに動くべきであるということがわかった」

参加者：学部・大学院生 28名、教員3名、職員1名

